

患者さまへ

「急性大動脈解離上行置換後の下行大動脈病変への治療成績の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2014年1月～2023年7月までに急性大動脈解離 StanfordA に対して当院で手術を受けられた方。
2 研究目的・方法	<p>急性大動脈解離は現在の日本での致死率は改善され、諸外国よりも良好な成績となっています。それを受けて、初回手術時の術式選択も救命のための手術から遠隔期の治療再介入を予防できるように工夫されるようになってきました。しかし、初回手術時の術式選択は施設により異なっており、さらに、遠隔期の治療再介入の方法およびその成績も一定の見解は定まっていません。</p> <p>そこでこの研究は、急性大動脈解離で手術を受けられた患者さまがフォロー期間中にどれくらいの割合で手術再介入を要しているかを調査し、再介入時の手術成績を検討します。それにより今後の治療法の発展が期待できます。</p> <p>研究の期間: 施設院長許可(2023年12月予定)後～2024年8月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、病歴、既往症、初回手術の内容、合併症の有無、治療再介入の有無 等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 濱 大介 湘南鎌倉総合病院 心臓血管外科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>

2024年6月12日作成(第1.1版)